

糸満市議会だより

第123号

令和4年
3月7日発行

= 令和3年第8回(11月)臨時会 =
= 令和3年第9回(12月)臨時会 =
= 令和3年第10回(12月)定例会 =
= 令和4年第1回(1月)臨時会 =



令和4年2月11日(金)に、市制施行50周年記念の桜植樹が行われました。市長、議長をはじめ市内関係団体の代表者の皆さんで、クメノサクラ50本を庁舎入り口や市民広場に植樹しました。



令和3年第10回(12月)定例会

第10回定例会は、12月8日から12月24日までの17日間の日程で開催されました。

同定例会には、市長から人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問4件、令和3年度一般会計補正予算(第7号)などの議案25件の提出がありました。

また、議員提出議案として意見書1件の提出がありました。

議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

令和3年度一般会計補正予算(第7号)

本案は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ11億1553万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ317億7863万円とするものです。主な事業は次のとおりです。

○ふるさと応援寄附制度推進事業
2億4636万円

○文化交流・情報発信拠点施設整備推進事業
1661万円

○糸満市県外保育士誘致支援事業
114万円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業
7637万円

○軽石被害対策事業
200万円

○糸満市商品券事業
1億4100万円

○道路維持管理費(経常分)
606万円

○小学校施設改修事業
641万円

人権擁護委員候補者の推薦について

本件は、「人権擁護委員法」第6条第1項の規定に基づき委嘱される、本市の人権擁護委員として、「大城英孝」氏、「仲松美智子」氏、「金城盛憲」氏、「上原なおみ」氏の4名を候補者として推薦するため、同条第3項の規定により、議会の意見を求められたものです。

糸満市子どもを虐待から守る条例の制定について

本案は、子どもを虐待から守るための基本理念を定め、市の責務等を明らかにするとともに、施策の基本的な事項を定めることにより虐待のないまちづくりを推進し、子どもの安全と健全な成長が守られる社会を実現するため、条例を制定するものです。

糸満市情報公開条例の一部を改正する条例について

本案は、公文書の開示を請求する権利の適正な行使及び実施機関による権利の濫用の拡大解釈の禁止等の条項を新たに設けるとともに、開示決定後に一定の期間を経過しても開示を受けなかった者に対し、開示したものとみなす規定を追加するため、条例の一部を改正するものです。

糸満市都市公園条例の一部を改正する条例について

本案は、「都市公園法」による「公募設置管理制度」を活用するため、条例の一部を改正するものです。

監査委員の選任について

本案は、議員のうちから選任された監査委員の「徳元敏之」氏の任期が、令和3年12月2日をもって満了したことに伴い、新たに「西平賀雄」氏を監査委員として選任するため、「地方自治法」第196条第1項の規定により、議会の同意を求められたものです。

南部広域行政組合議会議員の選挙について

議員改選に伴い、同組合議会議員の選挙が行われ、次の議員が選任されました。

・長嶺 安浩 議員
・大田 守 議員

南部広域市町村圏事務組合議会議員の選挙について

議員改選に伴い、同組合議会議員の選挙が行われ、次の議員が選任されました。

・伊敷 郁子 議員
・徳元 敏之 議員

沖縄県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

議員改選に伴い、同広域連合議会議員の選挙が行われ、次の議員が選任されました。

・浦崎 暁 議員



意見書 第8回臨時会では1件の意見書を可決しました。

漂流・漂着軽石の除去等への対策を求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、農林水産大臣、環境大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄県知事

意見書 第10回定例会では1件の意見書を可決しました。

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書

あて先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣

第9回臨時会（初議会）は、12月3日に開催され、議長選挙、副議長選挙や常任委員及び議会運営委員の選任が行われました。

令和3年第9回（12月）臨時会（初議会）

第8回臨時会は、11月30日に開催され、議員提出議案として1件の意見書の提出がありました。議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

令和3年第8回（11月）臨時会**令和4年第1回（1月）臨時会**

第1回臨時会は、1月14日に開催され、市長から令和3年度一般会計補正予算（第10号）1件の提出がありました。議案等の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

令和3年度一般会計補正予算（第10号）

本案は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ10億6926万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ342億8110万円とするものです。事業は次のとおりです。

○個人番号カード交付事務事業

129万円

○住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業

10億6737万円

○軽石被害対策事業

60万円

一般質問

市政をたたく

令和3年第10回定例会では、12月16日、17日、20日、21日の4日間にわたり、20人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧頂けます。

市内公民館の安全について

金城 一文 議員

公民館の危険箇所を把握しているか伺う。

市民健康部長 公民館については市が所有する22施設において指定管理者が管理しており、指定管理者の自治会からの連絡により現場を確認しながら状況把握に努めている。
金城 公民館等の市有物件で事故があった場合にその責任は誰が問われるのか。

市民健康部長 市も受託者とともに賠償責任を負うことが相当であると認められるときは、市の責任部分につき保険の対象となるが、個別具体的に判断することとなる。また指定管理者が負うべき責任についても、市の責任と同様に保険の対象となると思うが、自治会には応急処置を施した上で事故の未然防止に努めていただきたい。



西川町公民館のフェンス

金城 西川町公民館周辺のフェンスだが市でも応急的な措置はしてあるがあくまでも応急措置である。大人が見ていないときに子供たちが何か触ってフェンスが崩れ高いところから落ちて大けがを負うことが想定される。それを防ぐために市でお願いできないか。
市民健康部長 西川町向上会を指定管理者として指定しているため、自治会の適切な管理を期待する。自治会が施設の管理費等に活用しやすい地域活性化支援事業補助金での修理が適切だと考えている。
金城 補助金の活用と言うが、使い勝手がよくないのでその補助金の金額等も含めてまた見直しをしていただきたい。



金城 幸盛 議員

道路行政について

真壁小学校、三和中学校の通学路である県道54号線について、道路管理者である県に対して、歩道整備など通学路における交通安全の確保を求める要請を行うべきと考えるが見解を伺う。

建設部長 県道54号線の歩道未整備区間について管理者である沖縄県に問い合わせたところ、通学路の合同点検において真壁小学校より、バス路線となっているが歩車道の境界の区別がつかないとの意見を頂いている。現時点において歩道の整備予定はないが、合同点検において危険箇所として指摘されていることから、どのような安全対策ができるか検討していくとの回答を得ているので、今後県の動向を見守っていききたい。

幸盛 令和3年7月9日付



小中学校の通学路となっている県道54号線

で、文科省から通学における合同点検の実施についての依頼文が発出されていると思う。そういった面からすると、県道54号線については、沖縄県においても指摘箇所との認識はあるので、いま一度要請も早めにしていただきたいところであるが、合同点検を改めて実施する考えがないか、教育委員会の見解を伺う。

教育長 真壁小学校、三和中学校の通学路における部分においても、しっかり合同の現場検証なりを行い、その安全性がしっかりと、物を作る時点でできればいいと考える。

幸盛 ぜひとも早めの合同点検の実施と県への要請をお願いする。



金城 悟 議員

環境行政について

①県及び国管理の報得川河川敷沿いの繁茂した草木と不法投棄ごみを把握しているか。
②不法投棄ごみの解決策を伺う。

市民健康部長 ①T S U T A Y A西側国有地と大川区側の河川管理道路沿いと認識している。どちらも本市の管理ではないため、国、県による除草作業などの情報は把握できていないが、大川区自治会やボランティア団体などによる清掃活動が行われているとの話を伺っている。②現在不法投棄監視員によるパトロール活動や看板の設置、啓発チラシの配布などを行っているが、抜本的な解決に至っていない。他自治体の先進的な取組を研究し、不法投棄のない環境づくりに努めていく。

金城 環境美化の日を定め全



報得川沿いに捨てられているごみ

市民と一緒に行動し総決起大会を開催したい。糸満市をきれいにするためには市民みなで意識づけしないとけない。まちが汚いと本当に見苦しい。だからこそ総決起大会を開催することはどうか伺う。

市民健康部長 どのような方で市民の環境意識を高めることができるのか検討したい。

金城 5月30日から6月5日までがごみ減量・リサイクル推進週間である。全市民と一緒に総決起大会を開催してほしいがどうか。

市民健康部長 ごみ減量化推進週間に市民が環境美化に関心を持つことは大変有意義だと考えている。方法等を検討していききたい。



徳元 敏之 議員

49歳以下の新規就農者を育成する支援策について

①現行制度の見直しはないのか。②同制度の拡充は考えられているのか伺う。

市長 ②新制度でこれまでより新規就農者に対する初期投資、農地の確保、営農技術の習得など、きめ細かな支援を実施できるものと考えている。

経済部長 ①現行制度の農業次世代人材投資事業に代わる支援として、新規就農者経営発展支援事業がある。内容としては、認定新規就農者の経営開始資金として施設・機械整備などの初期投資のほか、毎月一部は現金として受け取ることができる最大1000万円の支援を行う。その他には雇用就農者や農業研修生への支援などの見直しを検討されているが、実施時期等についてはまだ決まっていない。

徳元 政府の発表で初期投



就農者の育成、定着への支援を

資の負担を減らすため最大1000万円を一括支援するほか、就農者を指導する農業法人などへの助成期間を5年へ延長するということで、農業者が減少する中、就農者の経営安定化と長期定着を後押しする制度なので、市も積極的に支援をしてもらいたいと思う。

経済部長

新制度について時期は未定と答弁したが、事業化が決定した場合には周知をし、現在課題の若手の就農について積極的に働きかけたいと考えている。

徳元 この制度を使っている皆さんは本当に頑張っているので、引き続き支援をお願いしたい。



玉城 哲郎 議員

阿波根593番地から県道82号線までの道路について

①道路の凹凸が多いが当局は認識しているか。②整備するまでの期間は凹凸をどう対処するか伺う。

建設部長

①当市道は、座波阿波根線を始点とし県道那覇糸満線をまたいで県道7号線を終点とする市道で、阿波根橋口線の一部になる。阿波根橋口線の凹凸については、市当局も認識しており改修の必要性を感じている。②補助事業化を前提にしているため大規模な改修は厳しい状況だが、指摘される危険な箇所については部分的に修繕し交通安全に努めていく。

哲郎 地域の方から、自転車に乗っている子供たちが転倒したとか、夜歩いているときに転びそうになるなど危険なので早く整備してほしいとい



凹凸が見られる当該道路（阿波根橋口線）

う声があった。当局としては危険性を感じていないのか。

建設部長 特に表面の舗装状況が悪いということ、凹凸が結構見受けられることを認識している。随時道路管理にはパトロール等を行っているが、住民からの要望があれば、指摘があった箇所については修繕等に努めていく。

哲郎 整備するまでの間、部分的に修繕するということが具体的にどういうやり方かが具体的にどういうやり方か。

建設部長 凹凸が見えるところを平たんにしたり、パッチング等の舗装をしていきたい。

哲郎 昨日も現場を見に行ってきた。まだ凹凸が多いので、そういった修繕は早めにやってほしい。



金城 敏 議員

高嶺小中一貫校について

進捗状況を伺う。

教育長

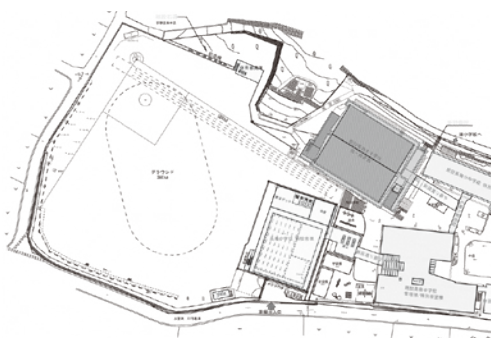
高嶺小中一貫教育校準備委員会を設置し、様々な議論を重ねている。また、高嶺小・中学校区の地域住民に対して、（仮称）糸満市立高嶺小中一貫教育校における教育活動案について説明を行い、住民の意見を拝聴した。今後は推進委員会、準備委員会、地域住民の意見を取りまとめ、令和3年度末には提言書としてまとめ教育委員会に提言を行う予定としている。

金城 小中一貫校移行後のグラウンドの面積を伺う。

教育委員会総務部長 現在のグラウンド面積は1万1200

1平米で移転後は9768平米になる。現状より約1433平米少なくなる。

金城 小中一貫校になれば、増えるのが当たり前だと思



高嶺小中一貫校グラウンドの図面（案）

う。手元に一貫校の敷地予定図があるが、トラックを見てほしい。市内小中学校でこのようないびつなトラックを見たことがあるか。

教育委員会総務部長 同様な設計のグラウンドはない。

金城 以前から、せめてグラウンドだけでも拡張を言ってきたが、十分な広さは確保できているとのことだった。これが小中一貫校か。拡張を検討してはもらえないか。

教育長 教育委員会内で方針を持って、財政負担も勘案しながら今後、検討していくことになると思う。

金城 あと2年余りで開校する。急いで作業を進めていただきたい。



金城 敦 議員

糸満北部地区かん水対策について

糸満北部地区の今後のかん水対策の取組を伺う。

経済部長 糸満北部及び八重瀬町北部再編への対応については、本市北部地域及び八重瀬町北部地域の水源未整備地区へ農業用水を確保する糸満八重瀬地区整備構想の策定が必要となる。そのため国営地下ダム南部受益地区内における基盤整備の未整備地区の除外と、これから基盤整備を行う地区の可能性等について、沖縄総合事務局と沖縄県南部農林土木事務所、沖縄本島南部土地改良区で定期にワーキング会議を行い協議している。構想策定後は、その計画に沿って、糸満・八重瀬の再編に向けた計画の実行が展開されるものと認識している。

金城 糸満八重瀬地区整備構想を策定し対応することのこと



糸満北部地区かん水対策事業の早期実施を

だが、現在、関係機関と策定に向けた調整の中で、農業用水確保の具体的方法を伺う。

経済部長 実施機関である沖縄総合事務局と調整しているが、まだ最終的な決定に至っていない。

金城 これまで何回も質問をしてきたが、そのたびにアンケートを取っているや調査をしている、調整中とのことであつたが、今回は整備構想の策定に向けて協議を行っているとのことである。なかなか前には進んでいない。北部地区の農業用水確保が大事ということは市長も分かっていると思うので、早めに事業開始ができるようお願いしたい。



山内 竜二 議員

課題解決型学習について

課題解決型学習の内容について伺う。

教育長 課題解決型学習（PBL授業）は、企業が実際に抱えている課題に対して生徒たちがグループをつくり、与えられた課題に対して解決案を考えて発表する授業となっている。令和3年度においては、市内4中学校13クラスで実施している。

山内 どういった企業に参加協力してもらったか。

教育委員会総務部長 市内外の12企業で、金融機関関係1社、農業関係1社、建設設計関係2社、食品関係2社、福祉関係1社、観光関係2社、NPO法人1社、製造業1社、情報通信関係1社である。

山内 課題解決型学習はこれまでの教育方法と比べると、物事を学ぶ過程を重視すること

とで勉強に対する意欲が上がるだけでなく、積極性やコミュニケーション能力の向上、働くことへの関心など、実社会で役に立つ力を養うことができると思う。生徒たちや現場の声を聞かせてほしい。

教育委員会総務部長 学校現場、協力企業からは、次年度以降も事業を継続してほしいとの多くの声を頂いている。生徒たちからは、意見を出し合って、意見を組み合わせる資料ができてよかった。またやりたい。グループで解決策を立てるのに苦労したが、いい思い出となったなど、生徒たちの自信につながる感想が寄せられ、改めて効果的な事業だと認識している。



課題解決型学習の様子



賀数 郁美 議員

学校給食無償化について

恩納村はコロナ禍になり保育園、幼稚園、中学校はふさとづくり応援寄附金と一般財源、小学校は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金とふさとづくり応援寄附金と一般財源を活用し学校給食を無償化したそうだが、恩納村の事例を踏まえ糸満市でも適用可能か見解を伺う。

教育長 給食無償化について恩納村に確認したところ、学校給食を無償化しているとのことである。次年度以降も財源等の確保を行いながら段階的に無償化を進めるとのことである。本市では学校給食に係る材料費は、学校給食を受ける児童・生徒の保護者負担とし、全額保護者から徴収している。現在のところ、給食費の無償化は厳しいと考えて



学校給食費の無償化を

いる。しかし、保護者への負担軽減は必要と認識し対応している。令和2年度には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金約8000万円を活用し、学校給食地域食材購入支援事業を実施し、給食費について3か月分を支援し、保護者の負担軽減を図っている。令和3年度は12月の給食費約2300万円の支援を行い、保護者の負担軽減を図る。また就学援助においては、令和2年度、小学校が約3200万円、中学校が約1900万円、合計で5100万円を支援している。今後も交付金等の活用や可能性調査など、保護者の負担軽減ができないか調査研究していく。



新垣 安彦 議員

ヤングケアラーの調査と課題について

教育委員会のアンケート調査の内容及び実施時期について伺う。

教育長 調査の内容については令和2年度、厚生労働省が行った、ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書の中でのアンケートと同じ内容をアンケート形式で行った。質問項目は、家族の中にあなたがお世話をしている人がいるか、お世話を必要としている方の状況、現在困っていることはあるか、相談できる人はいるか、学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はあるかなどを尋ねる内容となっている。調査期間は令和3年11月15日から11月26日に、小学校5、6年生及び中学生を対象にタブレットを利用し実施した。

新垣 今回のアンケート調査

に何名の方が応じ、何名の方から回答を得られたか。

教育委員会指導部長 小学校5、6年生が1463名、中学生2034名、合計3497名に対し実施、3160件の回答が得られた。回答率としては約90・4%になる。

新垣 回答の中でヤングケアラーに該当すると思われる児童生徒が確認されたか。

教育委員会指導部長 調査結果に関しては、現在、沖縄大学の名城健二教授に分析をお願いしており、今後、詳細な分析が必要であることから、ある程度の分析が整うのは令和3年度中を予定している。



ヤングケアラーへの早期対応が求められる



平田 健人 議員

生理の貧困について

市内の子供たちの生理の貧困への認識、これからの対応について。①生理の貧困に配慮した生理用品等の配布状況について。②学校で配布されているナプキンは返却不要か。③市内の小中学生を対象とする生理についてのアンケートを全小中学校で実施できるか。④小中学校の女子トイレの個室に生理用ナプキンを置くように求めるがどうか伺う。

教育長 ①ほとんどの小中学校で保健室において必要な児童生徒に配布している。そのほかにトイレに配置している学校もある。②返却不要である。③生理用品について自分から言い出すことに抵抗を感じる児童生徒もいると考えられるので、実施については慎重に検討していく。④現在トイレの個室に配置している学校



困っている子供たちに最善な対応を

もあるが、設備の状況や衛生面の問題等の課題もあることから、対象の児童生徒の気持ちも考えながら別の配布方法も含め検討し、必要な児童生徒へ届くようにしていく。

平田 別の配布方法とあったがどのようなものか。

教育委員会指導部長 必要な生徒は保健室に行くように声をかけや保健室にあるということを知っている。今後養護教諭と情報交換をしながら、様々な工夫ができればと考えている。

平田 私としては個室に置くことが、今現在困っている子供たちにとって最善な配布方法だと考えている。前向きな検討をお願いしたい。

道路行政について



大城 むつみ 議員

市道狭間線は座波区内から兼城ハイツ南側を通り、兼城

公民館までを結ぶ重要幹線道路である。農免道路から兼城公民館までの工事は完成しているが、座波に延びる狭間線は手つかずで、車一台しか通らず、ガードレールもなく危険性が指摘されている。危険でかつ不便な通学路に不適切なこの狭間線の早急な全面改修工事について、①本件における要請期日、要請者、概要。②工事実施までの手順を伺う。

建設部長 ①平成28年11月18日付で座波自治会長を代表

として、兼城ハイツ自治会長、兼城自治会長、兼城中学校校長、兼城中学校P T A会長、兼城小学校校長、兼城小学校P T A会長の7団体連名にて、農免農道から座波区間における狭間線の早期整備の



危険性が指摘されている市道狭間線

陳情が提出されている。②財政状況や現在進めている他路線の進捗状況及び計画されている新規路線との整合を図りながらの事業採択になるので時間を要するものと考えている。事業化された場合の手順としては概略設計後、補助事業採択、実施設計、土地鑑定をした後、用地取得及び物件補償を行い、工事に着手することになる。

大城 事業化に向けて地域がやるべきことを明確にし具体化したいので、今後の相談、助言について対応できるか。
建設部長 概略設計を実施する際は地権者の皆様の御協力が必要になるので御協力をお願いしたい。今後、相談、助言等についても対応していく。

保育士確保対策について



伊敷 郁子 議員

県外保育士誘致支援事業の内容を伺う。

福祉部長 令和3年10月に沖縄県が創設した補助事業で、保育士確保のため県外の保育士が市内の保育施設に就労するために要する渡航費や引越した代を補助するものである。補助基準額は単身世帯20万円、2人以上世帯40万円となっている。補助率は県90%、市5%、施設5%となっている。

伊敷 園長会から要望が出ている宿舎借り上げ支援事業と同時に進めなければ、この事業はできないと思う。宿舎借り上げ支援事業はやらないうことだが、住むところがないければ実際には来られない。家賃保証があるところに行きたいと思うのが人の常ではないか。



保育士定着に向けた施策の実施を

福祉部長 家賃補助を実施している市町村の話では、補助の有効期限があり、その期限が経過し補助がなくなったり、そのまま地元に戻ったということがある。まず持続可能性が高いものから取り組んでいくことが重要と考えている。

伊敷 帰られる方も、定着する方もいる。それはいろいろな事情があるからだと思う。家賃補助をしたら定着しないというのを、何で実施もしないうちから言えるのか。
福祉部長 新年度予算において奨学金の返済補助、今回は県外保育士の渡航等の補助を実施している。その検証を踏まえて次の施策を考えていく。

農村整備行政について



前田 潤 議員

真壁西地区の農村整備事業について。①進捗状況。②各主要工事の予算と総予算。③住民の要望の中で優先された工事と今回要望に応えられなかった工事について。④要望に応えられなかった工事について今後の計画と課題。⑤新垣、真栄平、宇江城の農村整備事業について、今後の方針と具体的な計画を伺う。

市長 ⑤真壁東地区として当該事業を導入し整備を図る方針である。現在真壁西地区同様に地域からの要望を取りまとめているところであり、令和4年度に沖縄県と補助事業採択に向けたヒアリングを行い、令和5年度の採択に向け取り組んでいる状況である。
経済部長 ①令和3年度に新規採択され、令和7年度までの5か年計画となっており、令和3年度は実



真壁東地区の農村整備を

施計画を行い、令和4年度より工事を実施する予定となっている。②農道整備に3100万円、農業用排水路に8500万円、農業集落道路に8000万円、農業集落排水路に1億9700万円、集落防災安全施設整備に2600万円となっており、総予算は4億1900万円である。③地域に優先順位をつけていただき、順位の高いものを優先的に事業採択している。その中で採択要件を満たすことができなかったものが要望に応えられなかった工事となる。④補助事業の対象にならないことから検討課題として今後実施の方法を検討していく。



西平 賀雄 議員

市道C4号線の一方向の改善について

この道路は市内でも幅の広い道路である。以前から一方通行には疑問が呈され市民から対面通行への変更の声があるが改善の考えはないか伺う。

市民健康部長

糸満警察署から、地域の意見がまとまり要請があれば、改善に向け沖縄県警察本部へ上申するとの回答を得ている。今後前地区自治会や地域住民、糸満市場いとまの関係者等及び糸満警察署と協議していく。

西平

ぜひ早めに地域との懇談会を行っていただきたい。このC4号線の出口のほうは非常に小さくなっており、国道とも県道とも関わりがあると思うが、拡張計画があるか。

建設部長

県道豊見城糸満線に位置付けられておりラウンドアバウトということで整備されている。C4号線にどのく



市道C4号線を対面通行に

らい影響があるか確認する。

西平 名城方面から来る車は逆走で入ってくることもあって、非常に危険な箇所になっている。国道、県道、市と全部が絡んでいるが、市としてはどのように持っていきたいという考えがあるか。

糸満市議会議員選挙について



新垣 勇太 議員

去る11月14日の市議会議員選挙における候補者のチラシの内容について、市長が一番信頼できる議員はどなたなのか伺う。

企画開発部長

議員の皆様全員が信頼できる議員であると思っている。

新垣

このチラシについて市長はコメントを提供したのか。

市長

写真と一緒に撮っていただきたいというときに、口頭ではあるがコメントをした。

新垣

雨天ドームは実現しているのか。

建設部長

実現に向けて取り組んでいる状況である。

新垣

実現していない。どこにあるのかという話である。次にプロ野球キャンプは実現したのか。

企画開発部長

ロッテ球団が



糸満市議会議員選挙当選証書付与式の様子

2月の中旬頃キャンプをする予定である。

新垣 よくて予定である。実現したということではない。実現していないものを実現しているかのように言い市長と写真を撮っている。それについて市長は注意もしないのか。

市長 確かにまだ完成していない部分もある。その部分に関しては御本人に指摘させていただきたいと思う。

新垣 市長の名誉に関わることである。選挙時ののぼりや看板、横断幕をなくそうという中で、こういったチラシを市民にまくというのはどうなのか。市長が一番信頼できる議員とも書いている。ぜひ強く注意していただきたい。



浦崎 暁 議員

医療的ケア児について

①福祉部門の取組について。②教育部門への取組について伺う。

福祉部長

①1つ目は、医

療的ケア児の状況や家族のニーズに応じ、居宅介護、短期入所、児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援といったサービスの支給決定をしている。2つ目は、関係機関が連携を図るための協議の場として、糸満市地域自立支援協議会に子ども・療育部会を設置し、医療的ケア児等の支援の在り方等を協議している。3つ目は、医療的ケア児等が地域で安心して生活できるよう保健、医療、福祉、教育等の必要なサービスを総合的に調整する医療的ケア児等コーディネーターを社会福祉課、市内相談支援事業所に各1名ずつ、計2名を配置して



医療的ケア児への支援推進が求められる

いる。4つ目は、本市ホームページで医療的ケアが必要な児童などへの支援について情報提供している。

教育委員会指導部長

②医療

的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が令和3年9月18日に施行され、学校の設置者の責務が明記された。教育委員会としても実態の把握や体制の整備など、医療、保健、福祉等の関係部局と連携し、取組を進めていきたい。

浦崎 法律もでき、では今度は自治体がどうするか。きちんと支援体制が明確化されたので、それを推進していくてほしい。



長嶺 安浩 議員

市長の選挙公約実現について

市長が掲げた公約の進捗状況について伺う。

市長 進捗状況については、令和3年3月に策定した第5次総合計画に関連する事業として反映している。また全ての約束及び挑戦について、事業を実施及び検討している。現在、実施に向け検討している事業については、進捗状況を定期的に把握し実施に向けて推進していきたい。

長嶺 市長の対話重視の姿勢を多くの方々が評価している。地域懇談会はまさにその一つと考える。今年度の開催状況を伺う。

市民健康部長 今年度は8自治会から開催要望があり、11月15日から始め、12月6日までに全ての懇談会を終えている。

長嶺 先ほど公約の進捗状況

として、実施及び検討を含め着手していることを確認した。掲げた公約着手について幾つかは既に達成しているという理解でよいのか。

企画開発部長

市長の公約に掲げている全ての約束、挑戦について第5次総合計画に関連する事業として反映しており、全ての約束、挑戦について事業を実施、検討している。

長嶺 公約実現に対する市長の姿勢を確認した。未達成のことも多いと感じるが公約実現に向けた市長の決意を伺う。

市長 糸満市のさらなる発展のため、また市民の皆様の福祉向上のために市民との約束を果たすべく粉骨砕身努力していきたい。



公約実現で糸満市のさらなる発展を



山城 渉 議員

次世代産業人材育成について

IT人材は2030年には最大で79万人不足すると経済産業省が発表している。ビッグデータ、AI(人工知能)、ロボット等の新技術に係る人材育成を小学生から行い、10年後には糸満市で新たな産業で活躍する人材の育成が急務と思う。本市において総務省の地域おこし協力隊を活用し人材育成を提案するが、未来ある子供たちのために事業を立ち上げることは可能か伺う。

教育長 教育委員会としては、関係部署と連携を図りながら県外の先進地の取組状況などを調査、研究していきたい。

山城 県内でも学習支援や観光情報を発信する人材として地域おこし協力隊が活躍している。副業が認められており、フリーランスのシステムエン



次世代を担う人材育成に向けた取組を

ジニアなどが次世代産業人材育成に担当者としてふさわしいと思う。また、文部科学省の定める21世紀型能力の基礎力、思考力、実践力の向上と国の重要施策であるＩＴ人材を小学生から中学、高校と段階的に行い、本市の新産業の担い手育成を行うことが重要と思う。事業資金を国の制度で行える次世代産業人材育成について見解を伺う。

教育委員会総務部長 次世代を担うＩＴ人材の育成は重要なことと認識しており、議員提案の事業についてＩＴ産業振興と連携していく必要があると認識している。今後は関係部署と連携調整を図りながら、先進地の事例などについて調査、研究していきたい。



大田 守 議員

福祉行政について

福祉団体の活動について、各事業所の活動を知らせるために常設展示場の必要性があると思うが見解を伺う。

福祉部長 必要性はあると認

識している。場所の確保や事業所が毎日対応できるかなど課題の整理が必要であり、令和3年11月に開催された糸満市障害者就労支援施設サービ

ス管理者連絡会等、これまでに常設展示販売の希望について

て尋ねたところ4事業所が関
心を示したことから、実現の
可能性について意見交換を進
めている。

大田 現在、週に数回、1階

ロビーで1事業所ずつ展示販売していると思うが、今までコンビニが入居していた場所を中心に常設展示、即売会ができれば、各事業所、利用者も含めやる気がアップすると思う。



庁舎内1階のコンビニ跡

思う。整備をする考えはないか伺う。

福祉部長

ペース活用には庁舎管理部署との調整が必要となり、事業所が常設販売するにはニーズに合わせた商品販売等、調整が必要ことが数多くあり、今後も調整を図っていき

大田 関心を示している4事業所からでも始めていいと思うかどうか。

福祉部長　まだ関心を示して

いるところであり、販売まで行けるといふところの具体的な詰めができている状況ではない。事業所と調整しながら進めることが重要だと思っている。

大田 必要な整備だと思う。
ぜひ調整してほしい。

○3月定例会を傍聴される方々へのお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会の傍聴を希望される方々におかれましては、次のことについて御協力のほど、よろしくお願いいたします。

- 咳エチケット、マスク着用等の感染予防をお願いいたします。
- 傍聴席入り口前のアルコール消毒液にて手指の消毒、または手洗い等をお願いいたします。
- 発熱、風邪症状などで体調が優れない方は傍聴を御遠慮願います。

○糸満市議会のホームページで本会議の映像が視聴できます。

糸満市のホームページから糸満市議会の本会議（ライブ・録画）を視聴することができます。
詳しくは市議会のホームページに掲載されますので、御確認ください。

また、過去の会議録の検索・閲覧や議会だよりについても掲載されておりますので御利用ください。

市議会HP <http://www.city.itoman.lg.jp/bunya/gikai/>

糸満市議会

Q 檢 索

◆◆◆ 令和3年 第8回臨時會議案等處理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
	小笠原諸島海底火山噴火による軽石発生に対する漁業影響調査・被害への対応支援について（要請）	採 択
議員提出議案 第 14 号	漂流・漂着軽石の除去等への対策を求める意見書の提出について	原案可決

◆◆◆ 令和3年 第10回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果	事件番号	件 名	議決結果
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし	議案第112号	土地改良事業の事務の委託に関する規約の変更について	原案可決
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	議案第113号	訴えの提起について(建物明渡等請求事件)	〃
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	議案第114号	令和3年度糸満市一般会計補正予算(第8号)	〃
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	〃	議案第115号	監査委員の選任について	同 意
議案第95号	令和3年度糸満市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	議案第116号	財産の取得について(庁舎内電話機交換事業)	原案可決
議案第96号	令和3年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	議案第117号	指定管理者の指定について(糸満市観光文化交流拠点施設)	〃
議案第97号	令和3年度糸満市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃	議案第118号	専決処分の承認について(裁判上の和解)	承 認
議案第98号	令和3年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	〃	議案第119号	令和3年度糸満市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第99号	令和3年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	〃	議員提出議案 第 15 号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書の提出について	〃
議案第100号	糸満市子どもを虐待から守る条例の制定について	〃		「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	採 択
議案第101号	糸満市情報公開条例の一部を改正する条例について	〃		「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める陳情	〃
議案第102号	糸満市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	〃		過剰な感染対策の影響を受け、学校登校を控えた子供達の学ぶ権利の保証に関する、請願および陳情書	不採択
議案第103号	糸満市こども医療費助成条例の一部を改正する条例について	〃		オンライン授業の早期実施を含めた「登校選択制」の導入を求める陳情	採 択
議案第104号	糸満市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	〃		サーフポイントにおける駐車場とシャワー施設等の整備に関する陳情	〃
議案第105号	糸満市都市公園条例の一部を改正する条例について	〃		糸満市社会福祉法人及び学校法人保育園・認定こども園園長会からの陳情書	〃
議案第106号	糸満市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	〃		令和4年度福祉施策及び予算の充実について(要請)	〃
議案第107号	沖縄県市町村総合事務組合規約の変更について	〃		更生保護活動支援について(要請)	〃
議案第108号	南部広域行政組合を組織する市町村数の減少及び組合規約の変更について	〃		採掘等作業が及ぼす農業従事者や農作物等への影響に関する嘆願書	〃
議案第109号	南部広域行政組合からの北大東村の脱退に伴う財産処分について	〃		5歳から12歳の新型コロナワクチン接種のお知らせ内容に関する陳情書	継続審査
議案第110号	南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について	〃		マスク着用に関する陳情書	〃
議案第111号	南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び規約の変更に伴う財産処分について	〃		沖縄本島南部土砂採取計画の撤回を国に要請することを求める陳情	〃

◆◆◆ 令和 3 年第 10 回定例会 議案等に対する議員の賛否一覧（全会一致を除く）◆◆◆

※「○」：賛成 「×」：反対 「欠」：欠席 「除」：除斥 「退」：退席 「－」：議場に不在 「議」：議長（議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません）

系満市議会議員 条例定数 21 人

※【会派名略称】糸保：糸保改 兼城：兼城クラブ 公明：公明党 南山：南山クラブ 共産：日本共産党 未来：未来糸満 結び：結びの会 良保：良保会 無：無会派

議案等番号	件名	議決月日	議決結果	出席者数	表決者数	賛成者数	反対者数	議席																				
								1 兼城大城むつみ	2 末来玉城哲郎	3 兼城山内竜二	4 共産前田潤	5 共産浦崎暁	6 無伊敷郁子	7 南山賀数郁美	8 南山金城一文	9 兼城長嶺安浩	10 糸保新垣勇太	11 糸保平田健人	12 結び金城悟	13 兼城金城寛	14 末来山城涉	15 南山西平賀雄	16 結び大田守	17 結び金城敦	18 良保金城敏	19 公明金城幸盛	20 公明新垣安彦	21 良保徳元敏之
議案第118号	専決処分の承認について(裁判上の和解)	12月24日	承認	21	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	退	退	議	○	退	退	退	退	○	○	退
議員提出議案 第 15 号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書の提出について	12月24日	原案可決	21	18	14	4	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	退	○	○	○	×	○	○	×

◆◆◆ 令和4年 第1回臨時會議案等處理結果 ◆◆◆

事件番号	件 名	議決結果
議案第 1 号	令和 3 年度糸満市一般会計補正予算(第10号)	原案可決